

加美農業高等学校

校訓 耕心



1 基本データ

創 立：明治33年
課程・学科：全日制課程・農業科、農業機械科、生活技術科
生徒数：144名
所在地：〒981-4111
加美郡色麻町黒沢字北條 152
TEL：0229-65-3900
FAX：0229-65-3901

ホームページアドレス：
<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
kamino-h@od.myswan.ed.jp
主な交通機関
◆宮城交通バス「色麻町役場前」より車で約10分
◆JR陸羽東線 西古川駅より車で約20分

2 学校の特徴

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は明治33年に設立、明治34年に現在の宮城県中新田高等学校の地で開校し、今年度に創立125年を迎える伝統ある高校です。全国に数ある農業高校の中で、昭和39年に、文部省より第1号農業自営者養成高等学校(パイロットスクール)指定の内示を受け、昭和40年に発足しました。昭和48年には普通科を宮城県中新田高等学校として分離独立させ、農業専門の高校として色麻町に移転し現在に至っています。

専門教育においては、教育環境や教育設備に恵まれ、コンピュータや自動制御技術、そしてバイオ技術など、最先端技術を積極的に取り入れた教育を行っています。

東京ドーム17個分の広大なキャンパスは、全国第2位の広さを誇っており、自然に恵まれ、落ち着いた環境で高校生活を送ることができます。

また、本校の大きな特色に寮教育があります。1年生は必ず体験入寮を経験しますが、遠隔地通学生などの中で希望する生徒は3年間の入寮が可能です。耕心寮は平成7年に新築され、明るく近代的な設備を有し、年間を通じて70人程の生徒が在寮しています。規則正しい寮生活の中で、互いに切磋琢磨し、基本的な生活習慣や自主性、協調性を培いながら、楽しく和やかな寮生活を送っています。

(2) 教育方針

<校訓>

『耕心』

それは飽くなき文化への

憧れと創造を意味する

それは豊かな人間性の開発を意味する

それは強い意志の鍛錬を意味する

そしてそれは人生への日々新たな

希望と喜びとの指標でもある

<教育目標>

- ① 高い志を持ち、自ら意欲的に学ぶ生徒の育成
- ② 情操豊かで、心身ともに健全な品格ある生徒の育成
- ③ 社会性を身につけ、地域を支える人材の育成

(3) 教育課程の特徴

農業科は、農業生産や流通・環境や情報に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の経営者及びこれらに関する業務の技術者として必要な能力・態度を育成します。

農業機械科では、農業機械の学習をとおして整備並びに機械加工の知識と技術を習得させ、農業をはじめとする地域産業の発展を技術者として支える人材を育成します。

生活技術科は、農業生産と家庭経営に興味・関心を持ち、心豊かな生活を実践し、地域で活躍できる能力や態度を育成します。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な学校行事として、校内意見発表会、全校田植え、収穫感謝の会、加美農祭、農業学習発表会、修学旅行(2学年)があります。また、韓国の水原農生命科学高校との交流を積極的に展開し、隔年で訪問と招請を続け、深い友情を育み、異文化について学んでいます。

部活動は、各部とも地区大会や県総体、各種大会での上位入賞を目指し熱心に練習を重ねています。特に相撲部は、これまでに県総体団体戦で17回の優勝を果たし、インターハイや国スポなど全国大会に出場しています。昨年度は県総体で団体戦第1位、個人戦4種目全てで第1位。県新人大会においては、団体戦第2位、体重別個人戦80kg級・100kgで第1位となり、東北選抜、全国選抜の上位大会に出場しました。

生徒会活動では、学校行事の企画運営や挨拶運動、募金活動等に積極的に取り組んでいます。中学生対象のオープンキャンパスでは、生徒会が中心となって学校紹介イベントや学校案内を行っています。また、近年では毎年2月に加美町で開催される「うめえがすと鍋まつり」に参加しており、相撲部直伝の塩ちゃんこ鍋は行列ができるほどの人気です。様々なメディアにも取り上げられ、校内外で幅広く活躍しています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
大学	5	2	6
短期大学	1	0	1
専各学校	11	6	9
就職(県内)	24	24	35
就職(県外)	7	4	12
その他	0	3	4
卒業生計	48	39	67

主な進路先(令和7年3月卒業生)、
()内は人数 (1)は省略。

<私立大学>

酪農学園大学、石巻専修大学、専修大学、東北工業大学、東京農業大学

<短期大学>

宮城誠真短期大学

<専修各種学校>

宮城県農業大学校(4)、国立宮古海上技術短期大学校、東北電子専門学校、葵会仙台看護専門学校、大原簿記情報公務員専門学校、仙台スイーツ&カフェ専門学校、大崎高等技術専門学校(2)

<就職>

やくらいフーズ(2)、伊藤ハム米久プラント、ササキ、尾西食品(2)、ワイ・デー・ケー(2)、山崎製パン、日野自動車、ぼんてん、愛知陸運、ジェイエイ仙台、九十九サービス、色麻町社会福祉協議会、原田伸銅所、旭陽電気、CKD、RS TECHNOLOGIES、ビューテック、UDトラックス、トヨタバッテリー(2)、油圧サービス、大崎森林組合、小野田建設、加美電子工業、コバヤシ、加美よつば農業協同組合、宮城県職員、自営業

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

本校生徒の活躍は多岐にわたり、高校生が先生になり、命の大切さや搾乳体験を小学生に学んでもらうモーモースクールや全国都市緑化仙台フェアへの出展、マイクラフトを利用した授業や近隣小中学校との連携授業に取り組んでいます。

手作り自動車省燃費競技大会では、手作り自動車を製作し、エンジンのセッティングや効率の良い運転方法などを研究して、大学や専門学校も参加する中、上位入賞を果たしています。また、アグリテック甲子園2023では色麻町と連携した箱屍の開発による獣害対策の取り組みが評価され、最優秀賞とテクノロジー賞をダブル受賞しました。

その他、社会福祉協議会と連携した各種ボランティア活動や、食材王国みやぎで開催している高校生地産地消お弁当コンテストに参加し、お弁当の開発にも取り組んでいます。



(2) 学校行事

《全校田植え》

それぞれのクラスが、自分たちの持ち味を發揮しながら田植えを行います。速さだけではなく、植え方のきれいさ、クラスのまとまり、連携などを総合的に判断し、審査が行われ順位がつけられます。

令和6年度は農業科の2年生が第1位となりました。校歌を歌いながら士気を高めたり、かけ声で気持ちを合わせて全員で元気に取り組んだところが勝利のポイントでした。



《文化祭》

令和6年度は、「One story ~青春の1ページ~」というテーマのもと、一般公開が開催されました。

今年度は、令和7年10月24日(金)、25日(土)の2日間加美農祭が開催されます。25日(土)の一般公開日には、リンゴやネギ、米や花などの農産物販売、鍋祭りや1,000食売上げた相撲部塩ちゃん鍋の模擬店などを企画しております。ぜひご来場ください!



《収穫感謝の会》

加美農で収穫した米や野菜を食材に各クラスで調理し、おにぎり豚汁コンテストを実施しました。牧草ロール転がし・一輪車競争リレー・〇×クイズのレクレーションも行なわれ、今年度の収穫に感謝する一日になりました。



(3) 韓国交流

平成3年6月に水原農生命科学高校と姉妹校の締結を行い、その後、相互訪問を行っています。長年、有意義な交流を続けており、両校のみならず日韓両国の親善と友好の関係を深めています。

令和6年度は、5年ぶりに本校の生徒7名、校長以下教員2名が韓国を訪問しました。



(4) 寮紹介

本校の大きな特色の一つとして寮教育があります。農業科は1カ月の義務入寮があり、農業機械科、生活技術科は1週間程度の体験入寮があります。遠隔地通学などで希望する生徒は3年間の入寮が可能です。規則正しい寮生活の中で、互いに切磋琢磨し、基本的な生活習慣や自主性、協調性を培いながら、楽しく和やかな寮生活を送りましょう。



寮生会長(紀室 昊杜さん 塩竈市立第一中出身)

寮生活では、最初に「耕心」という寮の方針について学びます。耕心寮は、ルールを守って生活することで規律が守られており、みんな楽しく生活しています。スポーツ大会や寮祭などの行事では、先輩後輩と関わる時間が多くあり、仲を深めることができます。寮祭では伝統の火文字を作製しますが、毎年とても美しい仕上がりになります。ご飯もおいしく、特にカレーは人気のメニューです。在校生の半分が寮に入っており、コミュニケーション能力も身に付きます。ぜひ、加美農の耕心寮に入って学び、成長してほしいと思います。

(5) 学校制服紹介

男子はストライプのボタンドウンのシャツに濃紺のブレザーとズボン、女子は白のシャツに濃紺のブレザー。紺と白のタータンチェックのスカートがポイント。また、女子用はスラックスやネクタイも選択できます。



4 卒業生からのメッセージ

農業科(遠藤 真涼さん 将監中出身)

農業科では、果樹・作物・野菜・草花・畜産・植物バイオの6つの専攻があり、私はその中から、草花を課題研究として選び、深く専門的に学んでいます。また、本州一の広大な敷地でのびのびと実習ができるのはここだけです。農業に興味がある人、身体を動かすのが好きな人、勉強が得意な人苦手な人。加美農なら皆さんの可能性を存分に発揮できます。青春の1ページを加美農で埋めてみませんか。

農業機械科(宮崎 登六さん 色麻中出身)

農業機械科は、仲間と協力して行うエンジン分解やささまざまな資格取得、トラクターの操縦、溶接など、本学科でしか経験できないことがたくさんあります。その他にも、地域の方々と交流する地域連携学習は、一人一人のスキルアップにもつながります。加美農は、生徒数は少ないですが、一年間に行う行事の数が多く、仲間との団結力があり、毎日を楽しみ過ごすことができます。皆さんも、農業機械科で専門的な知識を身に付け、高校生活をよりよいものにしてください。

生活技術科(大泉 悠花さん 古川南中出身)

生活技術科では、フード・ファッション・保育の3つを学べます。フードでは、うどんやハンバーグ、スイートポテトなどを、みんなで協力して手際よく作ります。ファッションでは、ブラウスなどの衣服を一から造ります。ミシンを扱うのは、最初は大変ですが、学年が上がるにつれ上達していきます。保育では、紙芝居や赤ちゃんの服の着せ方など、幅広く学ぶことができます。大人になった時、役に立つ知識を得ることができ、とてもやりがいがあります。興味のある方は、加美農に入学して一緒にスキルを上げていきましょう!